



花いっぱい 自分 友達 御一小

いつも第一小学校の教育に、御理解と御協力をいただきありがとうございます。本年度実施された全国学力学習状況調査について御報告をいたします。

【全国学力学習状況調査】

教科	国平均正答率との比較	県平均正答率との比較
国語	○	○
算数	△	○

左側の表の見方

○:+2ポイント~-2ポイント

△:-2ポイント~-6ポイント

▲:-6ポイント以下

(国語) (国語についての児童質問紙)

- 記述式の問題に臆することなく立ち向かい、正しく解答できた。
- 問われている条件(解答字数やキーワード)に合わせて記述する力を身に付けている児童が多い。
- 必要なことを質問したり、話し手の伝えたいこと(話す・聞く)の中心を捉えること(話す・聞く)に、高い正答率が見られた。
- 正しい漢字表記や文字配列への意識が高い。
- 国語の勉強が好きだと感じている児童が国や県の平均よりもかなり多い。

- ▲ 長文を読解し、目的に応じて文章と図表を結び付けながら、必要な情報を見つけて読むことに課題が見られた。
- ▲ 出題者がどのような意図で情報を関連付けていたり、語句の関係性を表していたりするかを読み取ることに課題がある。
- ▲ 異口同音の漢字を文章中に正しく判断して活用することに課題が見られた。
- ▲ 日常よく使われる敬語を正しく理解して活用することが難しい。

(算数) (算数についての児童質問紙)

- 図形問題に対して比較的高い理解が見られた。
台形・正方形等基本的な図形の性質や意味を理解している。
- 問題に示された場面を解釈し、小数の加法・乗法を用いて立式し、結果から条件にあてはまるかどうかを判断できる。
- (2位数)÷(1位数)の筆算の手順を正しく理解し、各段階で求められる商の意味を説明できる児童が多い。
- 算数の勉強が好きだと感じている児童が比較的多い。

- ▲ 図形の構成要素に着目して、問われていることを記述で的確に回答することが難しかった。
- ▲ 割合を活用して比較量や全体量を求めることに課題がある。
百分率で表された割合から比較量を導き出すことが難しい。
- ▲ 分類・整理されたデータから、必要な資料を読み取ったり、目的に応じて考察したりすることに難しさを感じる子が多い。

(児童質問紙)

- 課題解決に向け、自分から授業に取り組んでいる子が多い
- 学校に行くのが楽しいと感じている児童が全国比より多い。
- 先生に認められたり支えられていると感じている児童が多い。
- 外国との関わりや将来に向けての前向きな思いをもつ児童が多い。

- ▲ 自ら計画を立てて学習を進めていることに自信をもてていない。
- ▲ 新聞や書籍に高い興味を示し、積極的に読む児童が少ない。
- ▲ 授業の中で自らの思考を積極的に表出したり、まとめたりすることに自信をもつことができない児童が多い。

全国学力学習状況調査の結果を受け、令和5年度は以下の2点を大切に、日々の授業を行いました

- ・「自分から みんなでつくる授業」に向けて全校統一した『めざす授業像』を設定し、子どもが自分たちで学級の授業(文化)をつくる意識をもつことで、意欲的に授業に参加する思いをもつこと (子どもの視点)
- ・日々の授業を、「何を覚えたか」ではなく「授業を通してどのような力をつけるか」「何ができるようになるか」(見方考え方を働かせ、資質・能力を身に付ける授業)を意識した授業を構想すること
- ・学年のつながりを考慮し、子どもが学びを継続できる授業を構想すること (教師の視点)

3学期も引き続き、子どもたちに力をつける授業を目指し、取り組んでいきます。
御理解、御協力を引き続きよろしくお願いいたします。